

聖霊を信じます

主任司祭 吉池 好高

主の復活を祝ってきたこの季節、聖霊降臨の祭日をもって新たな展開を迎えます。死の闇を打ち破って復活された主は、十字架の傷あとを示されながら「聖霊を受けなさい」と言われて、弟子たちの不信の心のうちに、いのちの息吹きを吹き入れてくださいます。彼らの心の眼が開かれ、主の派遣に従うことのできる者たちとされます。五十日祭の日、弟子たちの上に注がれた聖霊は全世界に向けてこの神秘を証ししていきます。主の息吹きを受けた弟子たちは本当の意味で使徒とされ、大いなる喜びのメッセージを世界の隅々にまで伝えていくのです。

カトリック信者となったわたしたちも、洗礼と堅信の秘跡によって主の復活の息吹きである聖霊をこの身に受け、聖霊の神殿とされていきます。わたしたちのなすべきことは、わたしたちのうちにおいでくださる聖霊に心を向け、その勧めに従って生きるということです。わたしたちにとって、祈るとはそのようなことです。聖

霊のうながしによって、わたしたちが信じている主イエス・キリストと主が示してくださったわたしたち全てのものの父なる神に心を向けていくということです。わたしたちのうちにおいてくださる聖霊の光に輝かされて、この世の人生を生きていきましよう。出会う全ての人の関係の中で父なる神の子らとしての関係を取り戻していきましよう。そのためにも、聖霊降臨の祭日に歌われる聖霊の続唱（典札聖歌352）を心を落ち着けてじっくりと味わってみましよう。これらのことばが、わたしたちの日々の祈りとなり、わたしたちの生きる道しるべとなりますように。

「聖霊来ててください」この祈りがわたしたちの生涯の叫びとなりますように。わたしたちの中に聖霊が働きかけてくだされば、どのような状況にあっても、神がそこにいてくださるのです。深く息を吸って、心の底から祈りましよう。聖霊来ててください!!